

2年連続での販売額1億円を突破することができました。花卉については、毎年面積拡大を図り、今年度は3,771万円の販売額で実績を着実に伸ばしてきております。新規作付け者も増え、部会がありますので発展を期待しております。今後も部会員とともに「白神りんどう」のさらなる特産品化に向けて取り組んでまいります。

一方、これから収穫最盛期を迎える冬季作物の「白神山うど」や「白神アスパラガス」は、今後、販売の中心となっていく存在と考えております。今年度の見込みである青果物販売額19億3千万円達成に向け、大きな期待を寄せているところです。

昨年12月には、農業生産における労働力不足解消を目的とした、無料職業紹介所を開設いたしました。多くの生産農家の方にご活用いただき、主力品目の面積拡大、農業所得の増大の一助となればと考えております。

今年の第140回種苗交換会は

由利本荘市で開催され、当管内からは顕彰者1名、さらに、ねぎの県知事賞をはじめ、りんどうやきやべつなど17点が入賞するなど、天候に大きく左右される厳しい栽培環境の中にあっても、品質は高い水準にあることが認められました。市場関係者からも白神産農産物への信頼・期待が大きくなり、安定供給に向けた生産拡大が求められております。今後も安全・安心な農畜産物の生産拡大を図り、消費者に選ばれる商品作りを心がけ、農業所得の向上に繋げて行きたいと考えています。

また、昨年5月には、のしろ北支店敷地内に特定施設入居者生活介護サービス付き高齢者向け住宅が開所いたしました。入居者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、今後も、環境・文化・福祉への貢献を通じ、高齢者福祉事業に積極的に取り組んでまいります。

当JAとJA秋田やまもとで進めております合併につきましては、

新名称は「JAあきた白神」と決まったものの、経営状況や合併後の3カ年計画を協議している状況で、当初計画にありました平成30年4月合併を延期しております。今後さらに協議を進め、決定次第、組合員の皆さまにご説明申し上げます。

新たな年のスタートにあたり、30年度以降の水田農業政策をはじめ、農業・農協を取り巻く環境は、先の予測がしがたい不透明な激変の時代と考えております。『農業者の所得増大』・『生産の拡大』・『地域の活性化』を目標に、地域農業の将来を見据えた営農と地域住民の生活を支える総合事業を展開し、今後とも農業者や地域住民が一体となった協同活動に役員一同取り組んでまいります。

本年も皆様の変わらぬご理解と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさつと致します。

理事 永塚 誠司  
理事 戸松 義盛  
理事 工藤 巖  
理事 佐藤 静子

代表理事 小川 繁

常勤監事 渡邊 博

監事 工藤 寿博

監事 桂田 和弘

監事 池端 勝尚

員外監事 大山 澄子

本誌をもって、年始のご挨拶とさせていただきます。

